

働く女性の健康課題に挑戦する

～丸紅が取り組むフェムテック事業～

2022年8月
丸紅株式会社

○ アジェンダ

1. 丸紅の健康経営への取組み
2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業に取り組むのか
3. 丸紅のフェムテックサービス - 経産省 令和3年度フェムテック実証事業採択
4. JALグループとのフェムテック共同取組み
5. 丸紅のフェムテック事業の今と未来

○ 1. 丸紅の健康経営への取組み - 健康経営で解決したい経営課題

人財戦略

社員の活躍を支える
×
丸紅グループの成長につなげる

「丸紅グループ健康宣言」

丸紅グループにとって、「社員」はかけがえのない財産であり、その社員の「健康」は何よりも大切であることから、『社員の健康維持・増進』を重要な丸紅グループの経営課題と位置付けます。丸紅グループは、社員一人ひとりが自律的・積極的に健康維持・増進に取り組むことができる環境づくりを推進することで、社員の活躍を支え、丸紅グループの成長につなげて参ります。

■ 戦略マップ



○ アジェンダ

1. 丸紅の健康経営への取組み
- 2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業に取り組むのか**
3. 丸紅のフェムテックサービス - 経産省 令和3年度フェムテック実証事業採択
4. JALグループとのフェムテック共同取組み
5. 丸紅のフェムテック事業の今と未来

○ 2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業へ取り組むのか

ギャップを埋めることを
生業とする商社こそ挑戦
すべき課題・ギャップ
「女性の社会進出」
「健康経営」

社内外の多様な人財や経験
の掛け合わせで
機会・バリュー創出

世界の動きや、
ステークホルダーの
目線の変化の察知

自社も強く感じる
企業変革の必要性

【働く女性のQOLとパフォーマンス向上に繋がるフェムテック事業へ参画】

- 幅広いライフステージにいる働く女性が、よりいきいきと働ける職場環境の整備を支援し、女性社員のQOL改善や仕事のパフォーマンス向上を図る
- 企業の健康経営やDE&I推進を支援することで、日本企業の競争力強化にも寄与することを目指す
- ギャップを埋めることをしっかりとビジネスにし、サステナブルな発展につなげることで、社会的責任を果たす
- 自社でもサービス導入することで、男性社会で画一的なイメージを持たれがちな総合商社・丸紅自身の変革も目指す

○ 2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業へ取り組むのか

1 女性の活躍が社会・ステークホルダーから一層求められている



ダイバーシティ・エクイティ
&
インクルージョン



「女性活躍の情報」の開示義務化
投資家からの評価重視



ESG
SDGs

企業価値に直結する

2 女性の採用競争が始まっている



女性活躍推進
(管理職や採用比率増加)



健康経営優良法人
(ホワイト500の調査事項)

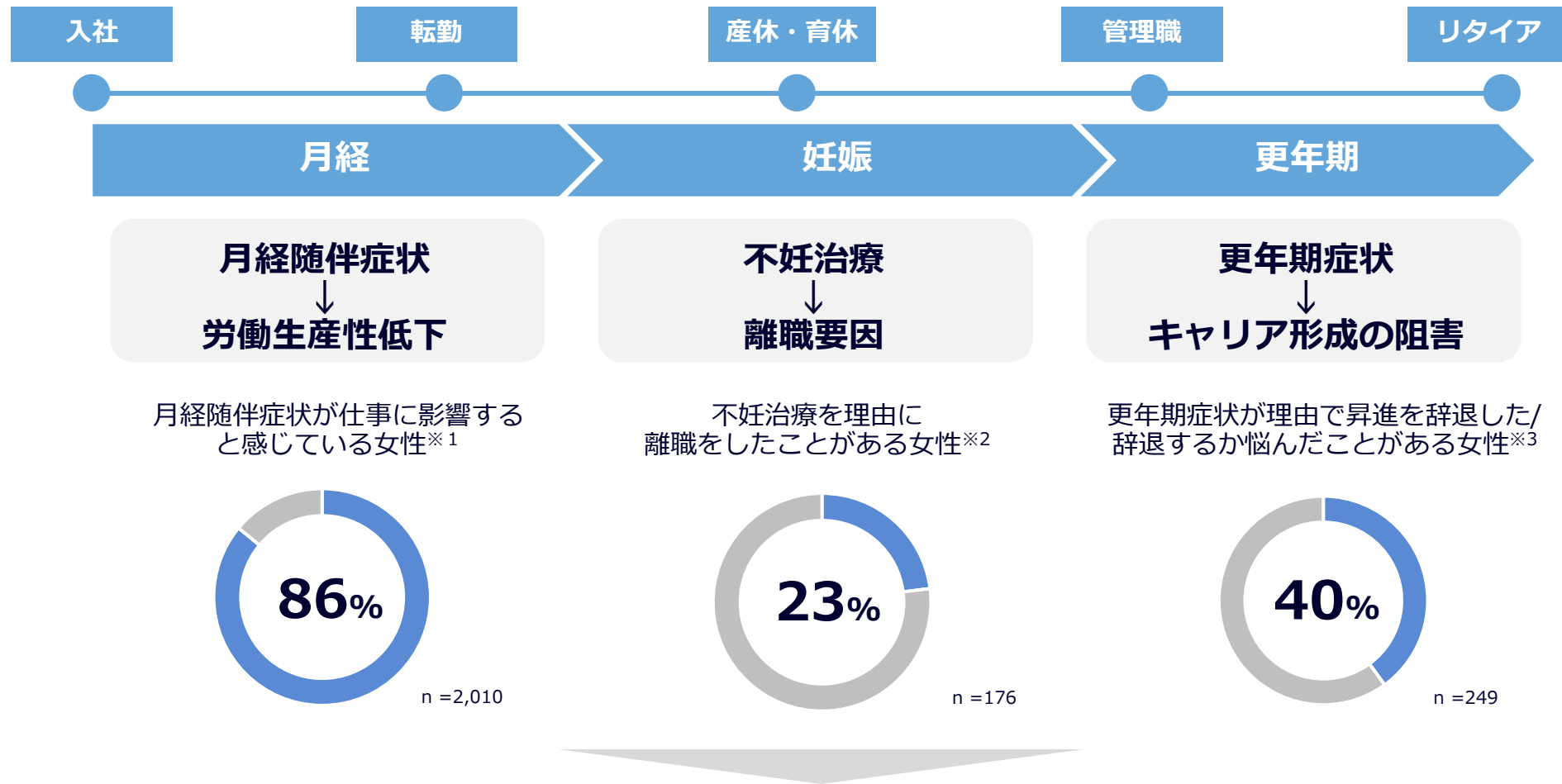


エンゲージメント
ウェルビーイング

人材の維持・確保のための
労働環境の整備

女性特有の健康課題を**個人の課題**として終わらせずに
企業における経営課題として取り組む必要性が増している

○ 2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業へ取り組むのか



女性特有の健康課題が**労働生産性低下やキャリア形成の阻害要因**となっている可能性が大きい

○ アジェンダ

1. 丸紅の健康経営への取組み
2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業に取り組むのか
- 3. 丸紅のフェムテックサービス - 経産省 令和3年度フェムテック実証事業採択**
4. JALグループとのフェムテック共同取組み
5. 丸紅のフェムテック事業の今と未来

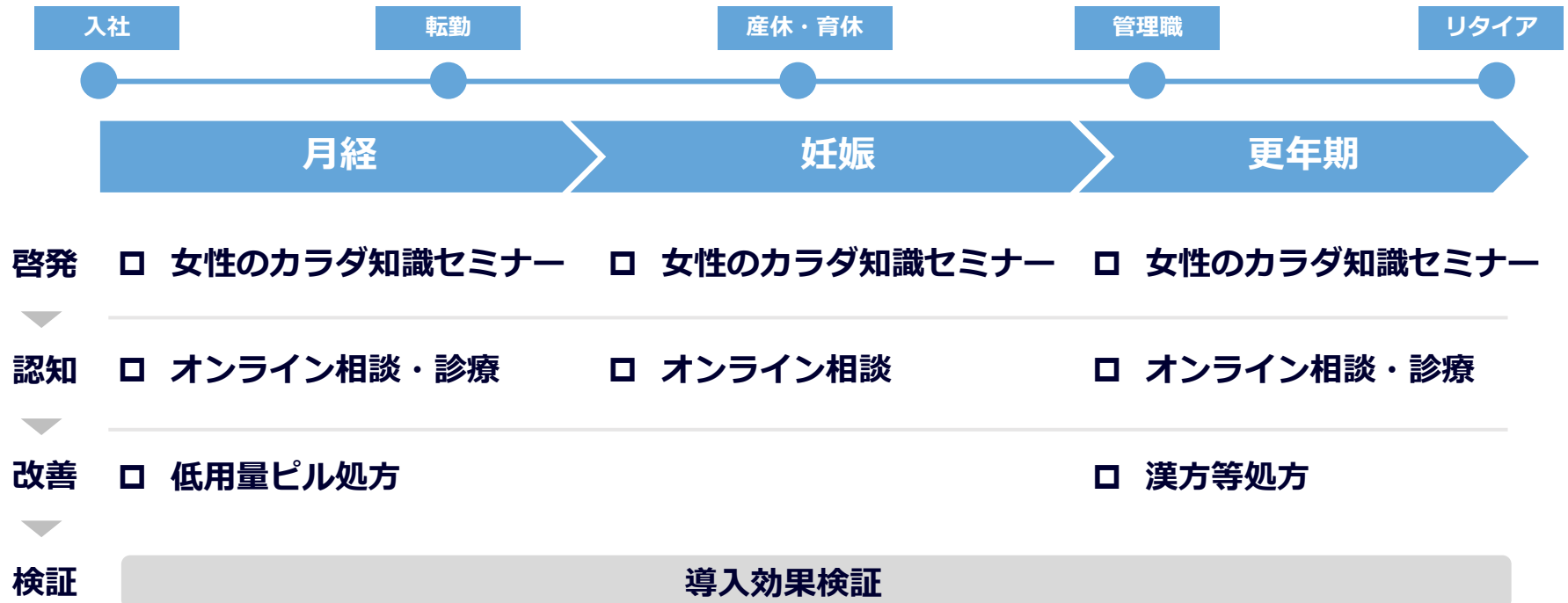
○ 3. 丸紅のフェムテックサービス - 経産省 令和3年度フェムテック実証事業採択

経産省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択、サービス開発・外部展開を推進

 JAL・丸紅・エムティーアイ・カラダメディカでの共同取組みのキッカケ

入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する、女性の健康課題改善総合サービス（“ルナルナ オフィス”）

働く女性が様々なライフステージにおいて向き合う健康課題を総合的にカバーし、
社内啓発～個人への処方までを一気通貫で行える法人様向けサービスをご提供



○ アジェンダ

1. 丸紅の健康経営への取組み
2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業に取り組むのか
3. 丸紅のフェムテックサービス - 経産省 令和3年度フェムテック実証事業採択
- 4. JALグループとのフェムテック共同取組み**
5. 丸紅のフェムテック事業の今と未来

○ 4. JALグループとのフェムテック共同取組み

 JAPAN AIRLINES  Marubeni  エムティーアイ  CARADA medica

News Release

2022 年 1 月 27 日

日本航空株式会社
丸紅株式会社
株式会社エムティーアイ
株式会社カラダメディカ

JAL・丸紅・エムティーアイ・カラダメディカの 4 社による 働く女性の健康課題改善に向けた共同取組みの開始について

日本航空株式会社(以下、「JAL」)、丸紅株式会社(以下、「丸紅」)、株式会社エムティーアイ(以下、「エムティーアイ」)、株式会社カラダメディカ(以下、「カラダメディカ」)は、女性特有の健康課題改善から効果検証までを一気通貫でサポートする法人向けサービス(以下、「本サービス」)を活用した「共同取組みに係る覚書」を 2022 年 1 月 27 日に締結し、2 月より共同で取組み(以下、「本共同取組み」)を開始します。

本サービスは、丸紅、エムティーアイ、カラダメディカの 3 社が、2021 年 7 月より共同で開発、法人向けに提供しており、医療機関と連携したオンライン相談・診療サービスの提供、啓発活動などを通じ、生理痛や月経前症候群(PMS)の改善をはじめ、妊活や不妊治療に関するサポート、更年期に現れる症状の改善まで、働く女性がライフステージごとに直面する健康課題の改善を支援するものです。

JAL は、お客さまに最高のサービスを提供するためには社員の心身の健康づくりが不可欠という認識のもと、様々な職場で活躍する女性社員の健康課題に対する実態把握と支援が、企業価値の向上とお客さまに提供するサービスの向上に大きく寄与すると考えています。また、JAL と丸紅はこれまでも、ビジネスジェット事業、代替航空燃料製造事業など様々な取組みを共同で実施し、ビジネスパートナーとしての関係を構築してきました。

このような背景から、今回 JAL が本サービスの実証企業として参画し、男女問わず全社員が受講可能な月経・妊活・更年期に関する理解を深めるセミナーと、女性社員を対象にした『ルナルナ オンライン診療』を活用したプログラムを実施することが決定しました。

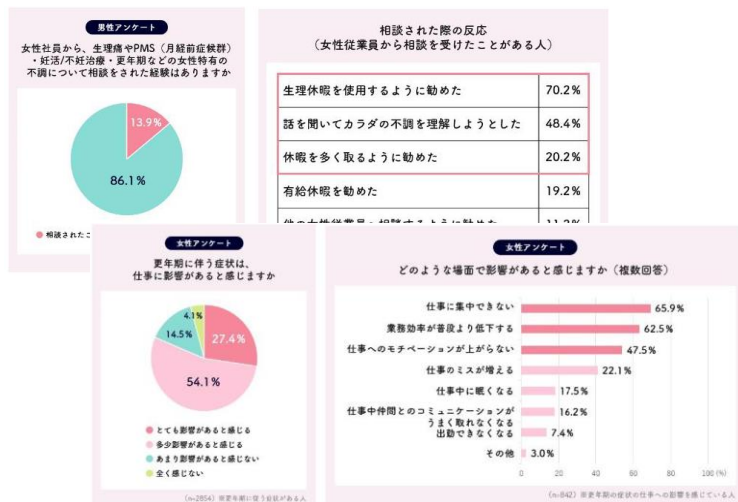
JAL、丸紅、エムティーアイ、カラダメディカは、本共同取組みを通じ、働く女性の健康課題に関する理解や相互サポートを促進し、より働きやすい社会の形成やダイバーシティ&インクルージョン^{*1}の推進を目指します。

4. JALグループとのフェムテック共同取り組み

1

実態調査

- JALグループ社員合計6,000人以上(性別問わず)に「女性の健康課題」に関する実態調査を実施。社内の現状・課題を可視化し考察。



2

知識セミナーの実施

- 大学病院産婦人科医などによる知識セミナーを実施。月経・妊娠・更年期に関する計3回の講義に、約600名の社員が応募し、男女みなで正しい知識を得た。



自分のカラダを大事にしようと思った

男性としてどう接していけば良いか理解が深まった

3

オンラインプログラム開始

- 約120名の女性社員が3つの健康改善プログラムを試験利用中。
- 今後、取り組みの効果検証や、部署別(空港・客室・営業)の差異検証等も行い、更なる取り組み施策の検討に活用していく事を目指す。



4

JAL社内報での本取り組み紹介など、社員向けのメッセージ発信・啓発促進による意識醸成に加え、健康経営やDE&I関連カンファレンス・セミナーでの情報発信により、**企業が女性の健康課題に取り組む意義や価値を社会に対して訴求。**



○ アジェンダ

1. 丸紅の健康経営への取組み
2. なぜ総合商社・丸紅がフェムテック事業に取り組むのか
3. 丸紅のフェムテックサービス - 経産省 令和3年度フェムテック実証事業採択
4. JALグループとのフェムテック共同取組み
5. 丸紅のフェムテック事業の今と未来

○ 5. 丸紅のフェムテック事業の今と未来

導入企業の増加

健康経営、DE&I、労働環境改善、組織風土変革など、さまざまな目的でのサービス導入が増加



JAPAN AIRLINES



And more...

各プログラムで効果検証データの蓄積

【月経PG】効果検証事例

プレゼンティズム（業務パフォーマンス）

直近の生理において不調を感じていた状況での自身の仕事のパフォーマンス

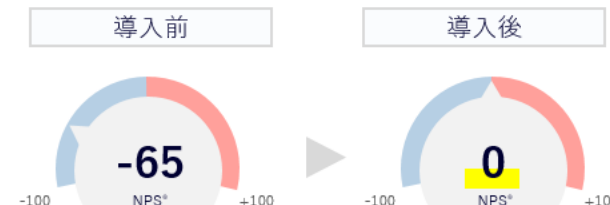


※ 生理に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

生理に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数



友人・知人に丸紅で働く事を勧めたいか(エンゲージメント)



※日本企業平均：マイナス20～マイナス40

【更年期PG】効果検証事例

プレゼンティズム（業務パフォーマンス）

更年期に伴う不調を感じている状況での自身の仕事のパフォーマンス



※ 更年期に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

更年期に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数



友人・知人に丸紅で働く事を勧めたいか(エンゲージメント)



※日本企業平均：マイナス20～マイナス40

➡ 丸紅のフェムテック事業は、経産省フェムテック実証事業期間を経て**次のステージ**に・・・

○ 5. 丸紅のフェムテック事業の今と未来

2022年7月1日にフェムテック事業を行う新会社を設立。

今後、新メニュー検討など新たな事業展開を加速し、日本企業の健康経営推進への寄与を目指します。

社名	株式会社LIFEM（読み：ライフエム）
株主	株式会社カラダメディカ 丸紅株式会社 株式会社エムティーアイ
代表	菅原 誠太郎
設立	2022年7月1日
事業内容	法人の従業員向け健康経営増進・職場環境 改善事業の企画及び運営 主要サービス：ルナルナ オフィス
今後の目標	サービス導入企業の拡大 中小企業向けメニューの開発 プログラム内容の拡充 アライアンスの構築 and more...

社名に込めた思い

LIFE × FEMALE



Life(人生)+Female(女性)を組み合わせた造語で、あらゆるライフステージにいる女性がいきいきと働ける社会になることを目指すという思いを込めています。

ロゴにあるミモザには“思いやり”という意味があります。会社と社員同士が思いやれる企業が増えると、きっと**社会も優しく変われるはず**です。

そのような社会を実現することで、働く女性のみならず、一緒に働く従業員などにも働きやすい環境を提供することができます。

その結果として、ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョンも推進し、日本企業の競争力強化に寄与したいという思いも含んでいます。

ご清聴ありがとうございました

お問合せ先

丸紅株式会社 フェムテック事業チーム

担当：野村 nomura-yuumi@marubeni.com